

環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事説明会

〔議事要旨〕

1. 開催概要

日 時： 令和7年12月5日（金） 午後17時00分～20時00分
令和7年12月6日（土） 午後13時30分～16時30分
場 所： 大成・鹿島・大林・京急建設共同企業体
中間事務所1F インフォメーションルーム（練馬区豊玉中3-9）

2. 主なご質問・ご意見と都の回答（要旨）

Q1：中間立坑からの土砂搬出が始まると、どんな種類の騒音・振動がするのか。

A1：土砂をふるう際や土砂をダンプに積み込む際に振動・騒音が発生します。これらの対策として防音壁と防音ハウスを設置し、振動・騒音を低減するよう努めます。

Q2：中間立坑からの土砂搬出が始まると、ダンプの搬出入が多く発生するのか。

A2：ダンプの搬出入が多く発生します。ダンプは全て環七通りから出入りすることになります。

Q3：車両の出入りは1日何台程度か。また、車両が現場に入りきらず、環七通り上で待機することは無いか。

A3：1日あたり最大500台を想定しています。待機が生じないように車両の管理を徹底します。

Q4：トンネルを掘進することより、井戸へ影響がでることはないのか。

A4：基本的には影響ないと考えていますが、シールド機の通過前後で周辺の井戸調査を行っています。

Q5：今回の工事で敷地内の梅の木は伐採するのか。

A5：梅の木の伐採は行いません。

Q6：現時点のトンネルの進捗状況は。

A6：発進立坑から約1.4kmまでトンネルが整備されています。

Q7：防音ハウスは将来も残るのか。

A7：この工事が完了したら撤去します。

Q 8 : 防音ハウスの高さは何 m か。

A 8 : 最も高いところで北側が約 18.5m です。

Q 9 : 工事用地は将来どうなるのか。

A 9 : 環七側には、調節池の維持管理施設（高さ約 10m）を建築します。残りの土地利用については決まっています。

Q 10 : 白子川地下調節池と神田川・環状七号線地下調節池は既に稼働しているのか。

A 10 : どちらの調節池も既に稼働しています。

Q 11 : 防音ハウスの組立に伴う振動はどのような種類のものか。

A 11 : 防音ハウスの組立に使用するクレーン等による振動が想定されます。

Q 12 : 立坑構築中は工事現場から音がしていたが今は何も音がしない。今も作業しているのか。

A 12 : 現在は凍結管の撤去と防音ハウスの設置作業を行っています。

Q 13 : 調節池の見学はできないのか。現場をみることで納得感が増すと思う。

A 13 : 2 か月に 1 回程度で工事現場の見学会を開催しています。※ (<http://kanzyou7.com/>) から申し込み可能です。